

Artivation

FIP Talks 資料

Artivation Corp.'s Vision

To make humanity a true intelligence civilization through Artivation
—Artivationによって人類を真の知性文明にする—

Artivation : AIによるイノベーション。人々が本当にやりたいことに集中できる社会をつくる概念。

真の知性文明: 個々人が本当にやりたい、創りたい、成し遂げたいものにだけ集中できる文明を定義した言葉。

人間が望まないタスク⇒AIによって全てを代替



人が本当にやりたいことを見つけ取り組めるように

FIP Talksの役割

Artivation

誰もが“本当にやりたいこと”だけに
集中できる真の知性文明へ

Artivation Future Quest 2055

2025—2035

Spark of Artivation—Artivationを起こす力をつけるフェーズ

目標年—目標売上
2025—200万円
2029—2億円
2032—20億円
2035—200億円

AIを使ったソフトウェア開発を行い、資金力をつける。
初期は作れるものを売り、技術・信用を得てきた後は
企業向けのAIソリューション開発を手掛ける。
できることをやり、Artivationを起こす力をつける。

2036—2045

Achievement of Artivation—Artivationを達成するフェーズ

2039—32億ドル
2042—200億ドル
2045—2000億ドル
※海外進出を考慮ドル換算。

2036年から自社製のAIとAIロボットを製造するための
工場を創り上げる。AIを使ったハードウェアによって
複数の産業におけるArtivationを達成する。

2046—2055

Era of Artivation—人類文明全体にArtivationをもたらすフェーズ

2049—1兆ドル
2052—1.6兆ドル
2055—2兆ドル

人類の全ての産業におけるArtivationを達成する。
最終的な目標の計算式は世界のGDP×2%。

FIP Talks 概要

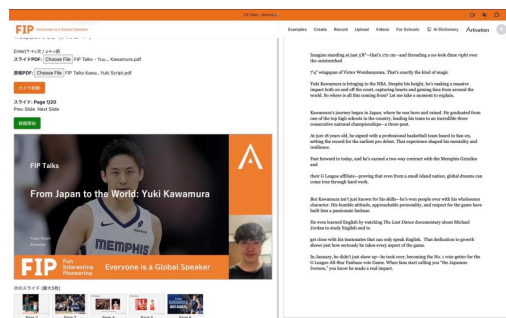
世界中の学生が、英語で好きなものを発信していくクローズドSNS！

プレゼンテーションを、**作る！**



- AIが伴走する10分ワークシート
- 好きがテーマの英語プレゼン作成

プレゼン動画を、**撮る！**



- アプリが導くスライド作成
- ノー編集、顔出しプレゼン動画撮影

世界中の投稿を、**見る！**



- 提携校の生徒、教員限定公開
- AIチェックコメント、アプリ内チャット

“好きなもの”がテーマの**3～5分の英語でのプレゼンテーション動画**を投稿し、
投稿者同士だけで視聴・フィードバックしあうWEB上の**動画共有型SNS**。

導入費用: **完全無料**

導入方法: **3か月に一度10分間の
ワークシートを配るだけ**

特色



安心・安全空間



グローバル空間



徹底したAI活用

FIP Talks
の日本サイト

QR⇒
リンク↓



<https://jpn.fip-talks.com>

英語での発信力とその障壁

英語で話せる or 発信できることの重要性

英語力を高めた人の**49%** → **年収が上がった**と回答
出典: Pearson Languages × PSB Insights

科学論文の**約9割** → **英語**で書かれている
出典: Organización de Estados Ibero-americanos (OEI) 2021

日本人の“英語での発信力”は決して高くない

EF **English Proficiency Index** 2024 → **116か国中92位** 出典: EF Education First

英語での発信力の向上を阻む…

“発信”に関する3つの課題…

1. **発信するもの**を持ってない

- 将来の夢持つ = **60%** (インド = 88%)
出典: 日本財団 2024
- SNSで投稿 = **25%** (アメリカ = 47%)
出典: 日本財団 2024

2. **プレゼン**の場がない

- 授業内スピーキング比率 = **6%**
出典: 文科省 2023
- 心理的、セキュリティ的に安全に発信できる場の欠如

3. **英語**を使えない

- 英語でプレゼンをした = **30%**
出典: 文科省 2017
- 基準スピーキング力達成 = **13%**
出典: 文科省 2017

FIP Talksは、これら**3つの課題を一気に解決**！
全ての人が**“世界への発信者”**になれるシステムを構築する！

1. 好きを表現する—自分だけのコンテンツを！

多様性とAIの傾聴が開放する、生徒の内なる“好き”を世界へと！

Model Speakers

実際の英語プレゼン動画の例です。
いくつかの投稿を公開中、他は楽しみに！

Coming Soon

- 全員が見られるModel Speakersページに様々な人の例を掲載！
<https://jpn.fip-talks.com/examples>

▶ 多様な好きに触れることで、自分の好きも認め表現できるように促す！

5 分間だけチャレンジ

まずは日本語で、どんなことを書きたいかを考えてみよう！

1 大好きなこと

☐ 30秒

例：バスケ、人と話すこと...！

3 これを語りたい

☐ 30秒

例：河村選手の素晴らしい...！

2 ワクワクすること

☐ 30秒

例：アメリカの話...！

4 こんな想いを届けたい

☐ 30秒

例：バスケを一緒にしたい！

いつでも、手が止まったら...

書くことないから、3分間だけ“AIと雑談”してみる！

Artivation Supporterを使ってみる→

スライド構成メモ

次は日本語で、プレゼンを作ってみよう

1 つかみ

インパクトのある言葉で始めよう！
例) 2Mの巨人の背に立つことを想像してみてください。

2 ざっくりした説明

どんなことを話すのか、簡単に説明しよう！
例) これから紹介するのは、日本一のバスケ選手、河村勇輝さんです。

3 ちゃんとした説明

3個ぐらいのポイントを絞って語りたいことを語り尽くそう！
例) 1. 彼は人格までも愛されている...！ 2. 英語を頑張ってる...など

4 紹介したいことの説明

自分がやっていること・はまっていることを紹介して、仲間を集めよう！
例) バスケボールをするイベントやってる！このチームが好きで語りたい！

5 まとめ・想い

伝えたい想いを語り、締めよう！
例) 皆さんもぜひ、一緒にバスケをしてみてください！

スライドマスターに当てはめてみよう！→

- 10分間のワークシートと対話型AIのサポート！
- ワークシート⇒対話型AI⇒プレゼン作成という流れにいつの間にか入るように設計！
- ▶ AIの傾聴で自分でも気づかなかった“好き”が解放される！

2. プレゼンテーション—発信する力を持つ！

憧れ・気軽さ・サポートが促す、自発的なプレゼン動画撮影！



プレゼン制作ガイド

あなたの「好き」を英語で世界に届けるまでのステップをまとめました。困ったらこのページをチェック！

- 1. 原稿を作る – ワークシート&AI**

まずは5～10分のワークシートで、あなたの「好き」を整理しましょう。
※ PDFをダウンロードして手書き、またはコピーしてメモでもOK。
[ワークシートをダウンロード](#)

さらに、AIと雑談しながらアイデアを膨らませるなら、[Artivation Support](#)を使いましょう。聞き上手なAIがあなたの「好き」を自然に引き出してくれます。

原稿をまとめる際は [Googleドキュメントのテンプレート](#) をコピーして使用可能です。（ファイル→コピーを作成）
日本語で書いた下書きをAIが英語に翻訳してくれるので、気軽にアイデアを盛り込んでOK。
- 2. スライドを作る**

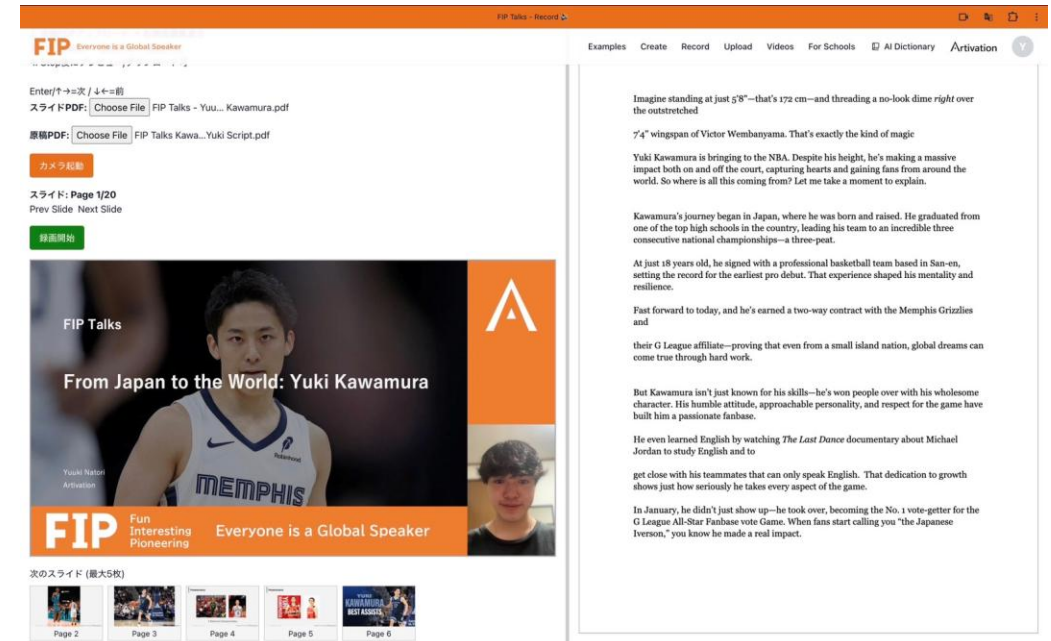
プレゼンはスライドがあると分かりやすいです。3～5分の発表なら5枚程度でOK。

Googleスライドマスターを [こちら](#) からコピーして使えます。（ファイル→コピーを作成）
タイトル/構成例が入っているので、あなたの原稿に合わせて文字や画像を差し替えてください。

ポイント:

 - 1スライド1メインメッセージ
 - 写真・図解などビジュアルを取り入れる

- 憧れとしての **Model Speaker** の存在！
- Create画面が **プレゼン作成を0から導く**！
<https://jpn.fip-talks.com/create>
- 充実した **テンプレート** も完備！



- 編集なしでそのまま **スライドと発表者ビューが入った動画を撮影** できる専用録画面！
<https://jpn.fip-talks.com/record>

▶ ユーザーの気持ちに寄り添うWEB設計が、プレゼン動画撮影の **ハードルを極限まで下げる**！

3. 英語で話し、聞く—範囲は全世界の中高生！

オーディエンスとスピーカーは全世界、AIが支える英語での共有！

雑談しよ。

うれしいな～！雑談大歓迎だよ🌱

最近、ちょっとでも「おもしろいかも」と思ったことってあったりする？どんな小さなことでもいいの。たとえば「最近この動画にハマってる」とか「このお菓子、めっちゃ美味しかった！」とか...なんでもOK！

なーんにも思いつかなくても、「今日はちょっとボーッとしてたな」でも全然いいだよ～。その中から「FIP Talks」で使えるタネが見つかることもあるからね🌟

📄 📌 🗣️ 🎧

なんもしなかったー

それもめっちゃ大事な時間だよ～🌱🌟

「なんもしなかった」って、実は心がちょっと休憩したり、頭の中を整理したりするための贅沢な時間なんだよね。そういう時に、ふと「これ気になるかも？」ってひらめきが出てくることもあるし！

たとえば...今日は「なんもしなかった」っていう日をテーマにして、「なぜ人はボーッとする時間が必要なの？」

- Artivation Supporterは**本当にいつの間にか英語のプレゼンの原稿**を書いてくれる！
- 雑談から好きなものを聞き出し、**たとえ最初はやる気がなくてもだんだん楽しくなってつい書くように！**

▶ 英語のプレゼン作成の**ハードルを極限まで下げる！**

The screenshot shows the FIP Talks website. The main video player features Yuki Kawamura, a basketball player, with the title "From Japan to the World: Yuki Kawamura". To the right of the video is a sidebar with an "AI Dictionary" section, which includes a search bar and a list of words with their definitions. Below the video player, there is a section titled "【Basketball】 From Japan to the World by Artivation Corp. 2025 CMO Yuuki Natori" with a transcript of the video content.

- 原稿、説明欄を**AIが翻訳！**（原稿は隠すこともできる）
- 右下にはAI Dictionary(後述)を配置し**分からない単語をすぐ調べ記録**できるようになっている！

▶ 英語のレベルに関わらず、どの**レベルからでも実践的な英語学習に取り組み挑戦**することができる！

グローバルな挑戦・創造的なAI活用のきっかけに

世界中の中高生を繋ぐ学習インフラに



自分が取り組んでいる活動や課外活動などを紹介することを推奨しており、動画の説明欄には活動について紹介するパートもある。

- プレゼン内での活動の宣伝を推奨！
- FIP Talks内でチャットができる機能も搭載！

▶ 世界中の中高生が、**やりたいことを共有して取り組めるようにする学習SNS**に！

創造性を最大化するAI活用の習慣に



視聴画面にはArtivation Corp.製アプリケーション、AI Dictionaryが埋め込まれている。
詳細: <https://artivation.ai/products/ai-dictionary>

- AI⇒**楽をするための道具**✕
- AI⇒**創造性を最大化するための道具**○

▶ FIP Talksでいたるところで活用されるAI使用の経験により、**生徒のAIへの向き合い方**を変える！

FIP Talks 詳細

作る

1. 生徒全員にワークシートを配布し最低**10分間取り組む**
2. 基本的に自由参加、取り組む生徒はWEBサイトとArtivation Supporterを使いながら**プレゼンを作成**
3. 出来たスライド・原稿を**PDF化**

撮る

1. WEBサイトの撮影画面から**プレゼン動画を撮影**
2. 撮影後、動画を個人の**YouTubeチャンネル上に限定公開**
3. 限定公開リンクをFIP Talks用の投稿画面に添付。原稿や各種情報を入力した上で**FIP Talks上に投稿**

見る

1. キーワード検索で**自分の興味のあるものを視聴**or**ランダム**にして面白そうなものを視聴
2. AIチェック付きの**コメント機能**で動画の投稿者と交流
3. コメントから送れる承認が必須の**チャット機能**で更なる交流

教育機関向け機能

- 担任は自分のクラス全体、学年主任は学年全体、学校の責任者は学校全体の**生徒の動画を一覧表示して確認可能**
- 教員は自分の担当の生徒の動画を**即時削除することが可能**
- 教員は自分の担当の生徒へ**個別・一斉にチャットを送ることが可能**

Admin Pro(将来的に導入予定)

- 課題としての配信、動画ごとの**フィードバックと点数付けが可能**
- 生徒一人一人の投稿状況や点数、投稿回数などをひとまとめにして**英語のプレゼン課題として活用が可能に**
- 学校ごとのサブスクリプション制とし、**生徒一人当たり月100円で導入可能**

メリット・提携校での活用例

安心・安全のクローズド空間

- 動画を投稿できるのは提携校の生徒・教員だけ
- 動画視聴画面にアクセスができるのは教員と動画を投稿した生徒だけ
- コメントはAIチェックでポジティブなものしか送れないように

世界と繋がるグローバル空間

- 全世界の中学高校と提携予定
- プレゼン動画を共有するから時差、距離は一切関係なく共有できる
- FIP Talks内のチャット機能でより深い交流も可能に

人間の創造性を最大化するAI

- 好きの深堀り、傾聴用にAIを活用
- 原稿や情報の翻訳にAIを活用
- 原稿へのフィードバックにAIを活用
- 分からない単語の検索にAIを活用
- コメントのチェックにAIを活用

<英語の授業での課題>

- プレゼンテーションを授業内で取り入れ、生徒に取り組ませる**時間的、負担的な難しさ**
▶ FIP Talksなら教員負担ゼロ、いつでもどこでも**プレゼン動画を作成・共有できる学習機会**を提供

<探究の授業での課題>

- 探究の授業における授業設計の難しさ
そもそも生徒が**自らやるものである探究を教える**とは…？
▶ FIP Talksにおける生徒の**主体性・自発的なモチベーション**を引き出す仕掛けによって好きにまつわる探究を

<総合型選抜対策での課題>

- 総合型選抜で問われる、**自分の好きな事や学びたいことを見つけられずに悩む生徒**は数多い
▶ FIP Talksに取り組むことで**自分の好きを見つめ直す**だけでなく、それを**人に伝える練習**ができる

<国際交流での課題>

- 時差や距離などによって**海外の学生と交流する機会を作る**のは難易度が高い現状にある
▶ プレゼン動画の共有による好きを起点とした繋がりは**生徒にこれ以上ない素敵な国際交流の機会を生み出す**

懸念点と対策

リスク	具体的な懸念	主な対策
プライバシー	・個人情報流出してしまうリスク ・顔出しによる動画投稿のリスク	・動画のページにアクセスできるのを提携校の関係者のみに制限 ・信頼できる教育機関とのみ提携 ・生徒に対する動画投稿、視聴時のサイト上での注意喚起の徹底
セキュリティ	・動画データの流出の危険性	・動画データ自体はGoogle管理下のYouTube上にある ⇒Googleのセキュリティで守られている
生徒間のトラブル	・心無いコメントがされる可能性 ・何かしらの人間関係のもつれ	・コメント投稿時「肯定的な意見」以外をAIによって排除 ・チャットは教員が監視できるように設定
生徒のモチベーション	・生徒が主体的に取り組まない可能性	・Artivation Supporterによる雑談からの自然な誘導 ・“好き”をテーマに、限りなく自由な投稿スペースに
取り組むハードル	・英語に対する抵抗からのハードルの高まり ・プレゼン動画を撮影し投稿するハードルの高さ	・Artivation SupporterやAI Dictionaryの翻訳機能の活用 ・埋めるだけでスライドが完成するテンプレート ・簡単に撮影することができる専用ページの完備

プラン

タイムライン



もたらす未来

2030年までに、+1,000,000 Global Speakersが利用するSNSに！

好きの発信機会
×
英語での全世界交流
×
AIの創造的活用



世界中の中高生が、
・好きを見つめ直す
・好きをプレゼンにして発信する
・動画によって世界と繋がる
ことを実現する場所を構築



世界中の中高生が関わり合い、
自分が本当に好きなものに向け
共に挑戦できる世界に！
そのハブを日本から！！

FIP Talksに参加した学生たちは…

自分の好きなものを持ち、
発信し、全力で取り組める

英語での発信力を持ち
世界と価値を共創できる

AIで創造性を最大化
することができる

本当にやりたい、創りたい、成し遂げたいことだけに集中するために必要な資質



Everyone is a Global Speaker!

—誰もが本当にやりたいことだけに取り組める真の知性文明へ！—

"You focus on only what you really want to do, create, and achieve for the best future - and that's what being a true intelligence civilization is all about. It's about handing over all unwanted tasks to another entity. What makes it happen is the innovation by artificial intelligence and I call it Artivation. And I can't think of anything more fantastic than achieving Artivation." -Ryosuke Nakada



Intelligence for Humanity

Artivation